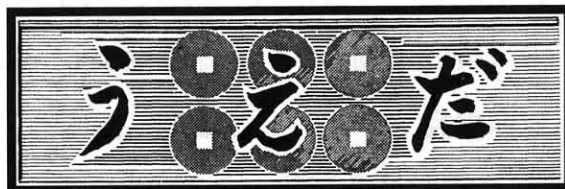


青 亭



上田高等学校関東同窓会・会報

題字は故稲垣征夫氏(14)

第69号
平成15年
(2003年)
6月7日
(土曜日)
=年2回発行=

=発行=
上田高等学校
関東同窓会
発行人/会長 石井光春 (51)
編集人/編集長 井上 剛 (61)
事務局/幹事長 成田邦夫 (56) 方
〒244-0003
横浜市戸塚区戸塚町518-3
TEL&FAX 045 (864) 5835

関東同窓会のホームページがオープンしています。ご覧ください。
<http://www.h5.dion.ne.jp/~uedakant/>

関東同窓会のe-mail。近況をお知らせください。
uedakant@m4.dion.ne.jp

母校便り

変わる選抜制度

社会講座、同窓生に期待



小山 壽一 校長 (65期)

校門の桜は散りました。が、樺の若葉がさわやかに風にそよぎ、春爛漫。全日制364名、定時制31名の新入生を迎えました。放課後には活発に活動する生徒の声にきやかに聞こえてきます。

さて、来年度から4通学区制へと変わりますが、同時に本校は自己推薦を取り入れた前期選抜(志願理由書の提出、小論文、面接実施)と従来の学力検査を中心にした後期選抜の



『自学自習』の伝統を表看板にしてきましたが、文武両道とはどういうことか、自学自習のために本校は何をしていくのか、改めて問われることになりました。

今年度、文科省から学力向上フロンティアハイスクール事業の指定を受けましたが、本校には地域の中心校として生徒に本物の学力をつける使命があると考えています。現在計画中の同窓生による社会講座は、生徒の夢と学習意欲の喚起、学力向上に向け、大きな意義を持つ事業であると期待しております。何卒ご協力をお願いいたします。最後にありがとうございました。ご協力を寄せていただいておりますこと心より感謝を申し上げます。



これまで会費は半年毎に納入者を掲載してきましたが、今回は14年度までの納入者と14年度以降分も納入されておられる方全員を一挙掲載しました。

(8、10ページ参照)
多くの方が複数年納入をしてくださっておりますが、引き続きご協力をお願いいたします。(事務局より)

第42回総会

とう
ご出席!

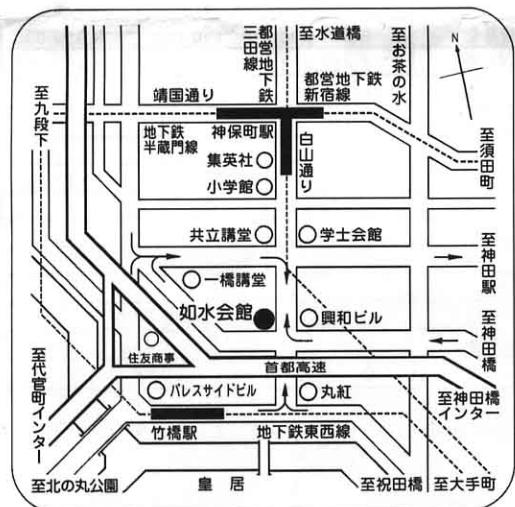


年に一度の総会が7月12日(土曜日)に開かれます。卒業後25、30、35、40、45年という節目の方々が、楽しい企画を進めています。また、同時に同期会などを企画している期もあります。ぜひご出席下さい。(詳細は2ページ)

【日時】 7月12日(土曜日)
14時 受け付け開始
15時 総会開会
16時 懇親会開会(18時閉会予定)

【会場】 如水会館 千代田区一ツ橋2の1
電話 03-3261-1102

【会費】 一般8000円 学生無料

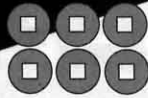


【交通】 ●神保町下車歩3分(都営三田線・新宿線・営団半蔵門線)

●竹橋下車歩4分(営団東西線)



母校への 社会講座



9月に開講、各分野で講師推薦へ

新プロジェクトの先輩社会講座は、本部、学校との協議により9月下旬の木曜日に、まず1年生を対象とした「職業について」のテーマで実施する。講師は9分野から推薦し学校側と協議して決める。講演時間は質疑を含め、1回90分程度とし、生徒に職業選択について考えさせるような話題を提供してもらうのが狙い。

9分野は次の通り。①教育・福祉系②医療・保険系③公務・保安系④国際関係系⑤事務・サービス系⑥法務・経営系⑦マスコミ・芸能系⑧芸術・デザイン系⑨研究・技術系

母校生徒の進路状況

上田高等学校 進路指導室 土屋正明先生



センター試験の科目増加を来年度に控えて全国的に安全志向が高まり、特に国公立中堅大学の難化が言われた入試でしたが、前年度に比べ、国公立大学の合格者が21名増加しました。特に増えたのが、千葉でプラス6、信州で5、筑波・群馬・都留文科で4など。東北も過年度生が健闘しました。私立大学は慶応・立教・東京理科が増、上智・中央がほぼ同、早稲田・明治・法政などが減でした。また、全国的な薬学人気を受けて、北里・東京理科などが増えています。合格しながら更に高きを目指す、いわゆる「合格浪人」も各クラスにいます。

国立計	135	中央	37	帝京	2
北海道	1	日本	24	東京慈恵会医	1
秋田	1	青山学院	13	埼玉医科	1
弘前	1	東洋	16	藤田保健衛生	1
東北	5	専修	6	東海	6
山形	6	岩手医科	1	武蔵	3
宮城教育	1	亜細亜	2	武蔵野女子	2
茨城	3	大妻女子	1	北海道薬科	1
筑波	8	桜美林	1	北陸	1
宇都宮	7	学習院	3	昭和薬科	2
群馬	8	共立女子	2	明治薬科	2
埼玉	4	工学院	11	東京薬科	8
千葉	10	國學院	5	星薬科	3
お茶の水女子	2	駒澤	5	共立薬科	1
電気通信	3	国立音楽	2	新潟薬科	1
東京	2	国士館	6	自治医看護	2
東京外国語	3	神奈川	8	新潟医療福祉	1
東京学芸	3	神奈川工科	2	東邦	7
東京工業	2	国際医療福祉	7	城西	1
東京農工	1	昭和音楽	1	城西国際	1
横浜国立	5	上智	7	大正	3
新潟	12	成城	4	立正	2
山梨	1	女子栄養	2	玉川	1
富山医科薬科	1	千葉工業	2	金沢工業	4
金沢	4	芝浦工業	12	鈴鹿医療科学	1
信州	27	実践女子	2	愛知医科	1
福井	1	創価	2	聖マリアンナ	1
静岡	3	大東文化	6	日本福祉	1
愛知教育	1	常盤	1	愛知学院	2
名古屋	2	獨協	6	共栄	1
京都	1	津田塾	6	豊田工業	1
京都工芸繊維	2	東京医科	1	中京	1
滋賀	1	国際基督教	1	名城	3
三重	1	東京国際	1	京都学園	2
島根	1	東京女子	7	同志社	3
鹿児島	1	東京電機	4	同志社女子	1
公立計	23	東京農業	3	龍谷	2
会津	1	東京理科	28	立命館	7
埼玉県立	2	東京経済	2	大阪学院	1
東京都立	3	東京工科	1	近畿	1
都立保健科学	1	二松学舎	1	京都産業	2
横浜市立	2	日本歯科	1	摂南	1
高崎経済	5	日本女子	4	関西外語	1
長野県看護	2	日本社会事業	1	関西学院	2
都留文科	5	文教	6	武庫川女子	1
金沢美術工芸	1	武蔵工業	2	ノートルダム	1
岐阜薬科	1	武蔵野美術	2	防衛医科看護	1
私立計	109	武蔵野音楽	1	その他の学校	10
明治	26	明治学院	7	国公立短大計	9
法政	27	麻布	4	私立短大計	12
立教	17	北里	14	各種専門計	12
早稲田	26	杏林	3	外国計	3
慶應	13	昭和	3		



トピックス 第1回 ゴルフコンペ 田村朗さんが 54期(54期)が栄冠



新企画の第1回ゴルフコンペは02年12月17日、茨城県石岡のサミットゴルフクラブで会員ら計18人が参加して開催、強風で悪戦苦闘のなか、54期田村朗さんがネット71.6(ダブルペリア)で優勝した。2位に55期倉見英一さん、3位

に同、飯島慶三郎さん、ベストグロスは飯島さんの80。第1回の栄誉の記念盾を手に田村さんは「申し込みも一番で予感があったのかも。[第1回]と刻まれた名誉は忘れない」と喜びを語った。週刊朝日「フェアウエー財界紳士録」にも登場した石井会長は「もっと大勢でにぎやかにやろう。楽しく行動できる同窓会に」と力強くあいさつした。

54期新年会

2月14日



新年会をホテルフロラシオンで開催。愛知の松尾君、静岡の山崎君らも駆けつけ、42名が集う。第一部は前東洋冷蔵社長津勝重君が山国信州から水産業界に入り鮪業界のトップとして活躍した体験に基づく講話。鮪は大海原の宝石でDHA、タウリンなどを含みパワーの源となる健康食品であることを再認識する。第2部の懇親会では、石

56期同期会

3月13日

56期は、2年ぶりに関東総会を日本教育会館で開催した。大久保治夫君の司会で開会し、第一部で(1)クラス幹事代表幹事の紹介と決定、(2)関東同窓会幹事長の成田邦夫君から同窓会本部と関東同窓会の動きの紹介、今夏の総会の実行委員は56期が筆頭担当で委員長を神津進君が務めること、総会を成功させるため56期諸兄の協力の要請があった。

特別企画 座談会と寄稿による

母校・証言の百年



連載第6回 続編①後編
 敢闘する中堅世代

70期台後半の方々にお集まりいた
 いて前号では、高校時代の想い出を
 語っていただきました。後編として
 今回は、卒業されてから現在までの、
 それぞれの皆さんの歩みを語って
 いただきます。(文中敬称略)

出席

土屋三千夫 (74期・軽井沢) 早大商→コムテック
 荻原久俊 (74期・東部町) 早大教→NHK
 柴崎由美子 (76期・旧姓伊藤・上田市) 日本女子大政卒
 山本直人 (77期・埼玉県) 東海大海洋→上田日本無線
 増田則夫 (78期・上田市) 東京工大(大学院)→日本電気
 渡辺博(透) (78期・上田市) 青山学院大→ミシュラン・
 オカモトタイア

司会 (副会長・幹事長・編集長)
 宮島光男 (55期・東京外語大
 →共同通信OB)
 /成田邦夫 (56期・東京水産
 大→伊藤忠OB)
 /寺島智恵子 (58期・東大卒)
 /井上剛 (61期・東大→学研)

井上 では、今度は、卒業から現在まで
 の歩みを伺いたいと思いますが、柴崎さ
 んは、卒論は何をやられたんですか。
 柴崎 「血中コレステロールの低下作用
 について」ということで、ネズミを使っ
 た実験です。椎茸から物質を抽出して、
 それをネズミにあげて肝臓の中の血中コ

レステロールの増減を調べるんです。
 成田 何か人間社会に得るところがあ
 りましたか。

柴崎 今の成人病研究のハシリですね。
 栄養学です。20年たって、やっと今、
 食生活の大事がいわれているんだなあ
 と思います。

井上 それからずっと主婦ですか。

柴崎 いえ、大学出てからゼンインレ
 ブンの本部でマーチャンダイジングの
 仕事をして、その後、極地研究所で秘
 書をやりました。

宮島 南極観測隊を派遣しているところ
 ですね。秘書は何年ぐらい？

柴崎 3年ぐらい。会社をやめて日本



女子大に戻ったら、「今
 こういう仕事がある
 から」ということで
 行ったんですけど、
 仕事は秘書よりもマー
 チャンダイジングの方がおもしろかつ
 たですね。でも、南極は行ってみたい
 なと思うことはありますね。うちの主
 人も行って来たけど。

井上 ご主人も行かれたということは、
 極地研究所で結婚されたわけですか。

柴崎 そういいうわけです。(笑い)
 成田 氷も解けるようなラブロマンス
 を？(笑い)

柴崎 南極の水は何億年前の空気を含
 んでいるんでグラスの中に入れるとフ
 ツツツという音がするんです。

宮島 そういいう氷を二人で味わいなが
 ら、「これが何億年前の空気だよ」なん
 で語り合ってたんですね。(笑い)

井上 土屋さんは、5社も移ったとか？

土屋 私は最初はミネベアです。入った
 理由は面接の時「海外に早く
 行けます」というのがあつ
 て、ではおもしろいなと。



4年目にイギリス駐在、そ
 の後ドイツでと4年間ヨーロ

ッパの財務担当をやりました。ヨーロッ
 パの責任者を30歳前の人間に任せる会社
 ですから人が足りない、常に自分で考え
 るということ、そこで社会人としての
 DNAができて、今思うと非常に感謝し
 ています。駐在から戻って、外資でも働
 いてみたいなどと通信社のロイターの財務
 を3年、その後アメリカの電子機器メー
 カーの日本の役員をやつて、それから縁
 あつて上場を目指している日本の会社で
 上場担当役員をやり、二部、一部とあげ
 て今の会社に来ました。一貫して財務と
 か人事総務畑ですが、一番最初の会社、
 又はその上司が大事ですね。

井上 英語とドイツ語はどうされたので
 ですか。

土屋 ドイツ語はできる人を雇っていま
 した。これではいけないと、ドイツ語学
 校に行き始めたら帰国命令がきたので、
 できるのは食事の注文ぐらい。英語は何
 言っているかわからない状態でスタート
 しました。経理がわかるからいいだろう
 あとは大丈夫と。でも、部下の人がベテ
 ランの人たちで、そのおばさんたちに教
 わりました。当時イギリスは英国病で、
 だめだと言われていた。でも行ってみる
 と、倉庫係のおじさんが趣味は乗馬で馬
 を2頭もっていると、生活の基礎
 の部分で日本は誤解しているなと思いま

したね。また、日本人はドイツ人と似ているといわれますが、ハートの部分でイギリス人のほうが似ていますね、同じ島国で。

井上 なるほど。山本さんは海のない上田から海洋学部に行かれたのは何故ですか？

山本 当時、エネルギーがなくなってきた海に資源を求めようという風潮があった。どこでそういうの



をやっているかという
と東海大の海洋学部、
鹿児島大の水産学部、
日大の農獣医ぐらい。そ

こで東海大へ。で、入ったら「お前、山から海に何しに来た」と言われ、卒業して上田日本無線を受けた時には面接で「お前は海を捨てて山に来るのか」と言われ、シヨックをうけたことはありますね。(笑い)

宮島 会社はどうでした。

山本 これ結構先輩が多いんです。営業にいて、技術にいて、それを抑えている上司も上田出身で、と。みんな打ち合わせをしていると「お前も上田高校か」となる。で、休憩のときなど、やっぱり座布団の話になる。教室を移るとき、座布団と教科書を持って移りましたね、座布団を指先で回したりしながら。で、「お前は回せるか?」と。「回せない」となると「お前はモゲリだ。上田高校の生徒として恥ずかしい」と。(笑い)

会社に入ってからダムのコンピュータ制御をやっていたけど、数年して、

日本無線の方からコンピュータ制御でなくて、それを構築する人間を上田でも作れという話が出て、おもしろそうだと。それが北海道から九州まで20何自治体のダムを日本無線のサポートをやりながら、いろんなところをとりまわるとめる仕事

ですが、他社や外の人と触れる機会が多かった。で、年の3分の1ぐらい出張でワッサワッサと仕事をして、息抜きに上田に帰るとい生活でした。で、ある時

営業やらないか、営業技術という部署を作るので行かないかという話があり、出てきたわけです。でも、上田から出て行くということ、これは社内では珍しいことなんです。よく出て行ったな」と。

会社で地域限定社員と転勤のある総合職社員に分かれる制度ができたんですが、3分の2ぐらいが地域限定社員でいいというんですね。信州人の土着志向みたいなものを感じます。でも、私は知らない所に飛び込むのが好きなんです。知らない人と会って、この人間はどんな人間か、誰に似ているか、ではこういう付き合い方をすればいいんじゃないか、違っていれば違っていたで「まだ人間を見る目が足りないな」、合っていれば「オー、出てきたぞ」と楽しみながらやっている。

宮島 増田さんは日電でどうですか。
増田 私が入社した時はNECは古い会社で、3年目に休暇を取って香港・中国旅行をしたと言ったら、1週間休まれたら会社が立ち行かないと休みをくれなかった。でも上司とけんかして無断欠勤状態で行っちゃったんです。

宮島 すごい勇気ですね。

増田

仲間もいるし、現地で待っている人もいる。自分だけ抜けると迷惑だし。で、帰ってからすこし真面目に仕事するかな



と光通信の仕事をして

いたけど、ちよつと気に入らない。もうちよつと自分にあつたものをという気でしたら、7年目に社内公募制度というのがあつて。今は一般的になりませんが、10年以上前は、そんなものに

応募するものではない、応募すると本社の事業部長が出てきて、上司の知らないところで応募するとは何事だと怒るので、普通そういう応募要綱は職場で回覧されない。で、私は人事に直接

掛け合い、1ヶ月遅れで書類を出して中央研究所に移りました。これも相当な波紋を呼びました。で、研究所に来たらそれまでの会社での実績は研究所の業績ではないからほぼリセット状態。また0からスタートしました。

宮島 給料も?
増田 給料は平均的ですね。ただ、業績がないですから加算分はゼロ。

大学は機械工学科に入った。電気のほうがいいかなあと思ってたけど、東工大は80人まとめてとつてあとは学部ごとに分けるんですが、機械工学科に分けられちゃって。そこでやっていたんですけど、大学院の修士課程の時にやっぱりエレキが向いているかなと思つて大学が抱えている研究所の電気系の研究室に行ったら、4年の時の先生がいやな顔して「せっかく機械で育てた

のに」と。でも学生時代からそういうのは慣れてますから、「周囲は誤解の固まりだ」と多少のことは覚悟の上でした。上田の人は仲良くやっているけど、何かあると自分の意見を言いますから対立しますよね。本当に意見が分かれるときには徹底的に対立するという人が多いですね。でも、時代が荒れてきたんで、そういう上田高校の卒業生の登場場面がこれからあるんじゃないかと。

山本 いいねえ、いいねえ。

増田 母親が真田の出身で先祖が幸村の足軽だったという(笑い)、こういう時代になるとああいう人物がどっか出てこないかなと。

今研究所にいて思うのは、私の世代もそうだけど、だんだん質が落ちてきているんですね、実は。日本の理科系はこれでいいのかな?と思うくらい。それで見ていると、東京出身の人たちはどうも自分とは違う行動原理で動いているらしいということが、だんだんわかってきて、違いはどこにあるのかなと考えると、自分が育った上小、東信地区、上田高校というのがからんでいるのかなあと。私三

中なんです、三中のテーマが自主独立。成田 僕三中。(笑い)
増田 そして高校に入ったら、担任の先生は「授業はつちり聞いていけば大丈夫」なんていうんだけどあまり教ええないんですね。結局自分で全部やれということ。参考書も長野あたりで見つけてきて自分で何とかしなければならぬ。良くも悪くも自己流。でも、そうでない層、とりあえず高校がやってくれる受験勉強を一

た

生懸命やってきたという人が結構いて
大学入って感じたんですけど、そうい
う人は余力がないんですね。会社でも
自分の下の世代、そのまた下の世代と
段々そういう人が増えてきて、そうい
う人は自分からやらないんですね、優
秀なだけで。

成田 指示待ち人間。

増田 そう、このままで日本の産業は
大丈夫かなと危機感をいだいています。
理系の世界は優秀な人が一人いれば何
とかなる、ある程度成果を出せる世界
なので、日本みたいな小さい国には特
に大切なことなんです。

成田 この間長野で学会があつて行か
れたそうで
すね。
増田 はい。
その時、学

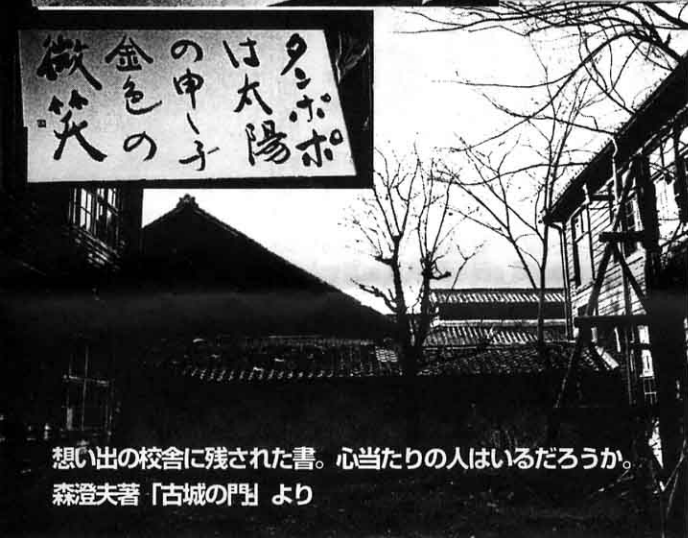
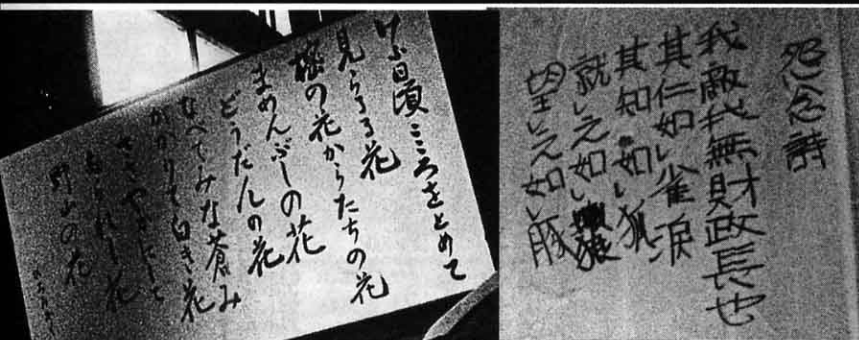
会が終わったあとのパーティに信大の先
生が来ない。なぜかというところ、ちよ
うどノーベル賞の発表のときで、信大の先生
もノミネートされていて学長以下講堂に
スタンパッテいたそうです。信大でノー
ベル賞が出れば本当によかった。日本の
研究が変わるんじゃないかと期待した。
今の日本の研究システム全体が、本当に
独創的な研究を生み出すシステムになっ
ていないんじゃないかと思うので。

宮島 今どんな研究をしておられるん
ですか。
増田 ノイズとか電波干渉が、生体に影
響を与えたり、パソコンがエラーする
かの研究ですが、私が直接やっているの
は、LSIの解析。LSIの微細な動作
解析の技術開発です。

宮島 萩原さんは国会詰めですつて？
萩原 私がいまするのはNHKの政治部で
す。総

理の動
きを追
う内閣
記者会
という
のがあ
るので
すが、
その
NHK
のチー
ムのデ
スクを
やって
います。
また

す。総



想い出の校舎に残された書。心当たりの人はいるだろうか。
森澄夫著「古城の門」より

まNHKにいるけど、高校の頃は強い意
志はなく、大学に入ったら新聞記者にな
ろうと思っていました。歴史で学んだこ
とを、政治なり社会現象なり起きている
事象を肌で体験したい、そのためには、
主役にはなれないけれど、近くにいろ
と考えて。

宮島 NHKに入つて、地方は？

萩原 富山に5年、東京に5年、名古屋
に3年、また東京です。



宮島 政治部は社内競
争率高いでしょ。
萩原 3年目ぐらいに

社会部に行くか政治部に行
くか選択しなければならぬ。行きたい
と思いつつ、行けるといふ保証は全然な
かった。5年目にたまたま空きができて
昭和62年、中曽根内閣の時。それから竹
下内角。55年体制で、永田町が派閥中心
の時代でした。

宮島 派閥はどこの担当？

萩原 安倍派から三塚派。

宮島 派閥の担当記者同士の駆け引きや
ぶつかりあいはなかった？

萩原 細川内閣ができ、連立政権以降は
随分変わりました。昔の派閥の根源にな
っていた中選挙区制、派閥同士で競うと
いう選挙制度が変わった。政治資金も透
明性が追求され、ボスが集めて分配する
というシステムが成り立たなくなりました。
今残っているのは人事権を持つて派閥の
結束を維持するということなんです。小
泉さんになってから人事も一切相談し
ないという脱派閥の時代になりました。

増田 大物政治家がトイレに行つたらつ

いていつて、ツレションしながら話を
聞くというのは、あれ本当なんですか？
萩原 そういうことはあります。普段
ある政治家に個別に接触するという道
はかなりの可能性で開けているんです
が、明日明後日という時のキーパーソ
ンには、東京のTV・新聞10数社いるわ
けですから、そこから先接触するとい
う時にはね。会議に入ったまま誰も出
て来ないという時でも、外部に連絡を
取つてるとすればその連絡先はどこ
かとかである程度会議の様子を探ると
いうこともありますね。

しかし、私は入社して20年ぐらいた
ちましたけど、次の世代の記者つての
は随分変わるだろうなあという気はし
ています。いわゆる情報戦だけでなく、
やはり表の部分ですね、記者会見やイ
ンタビュー、そこでどう渡り合ってい
けるかという時代になると思います。

井上 一日の働く時間帯は？
萩原 朝は10時ぐらいに出てきて座つ
ていて、夜は新聞の締め切りが2時か
ら3時前ですからその時間帯、1時半
ぐらいまでは待機しています。
土屋 首相が海外に行くときは同行す
るの？

萩原 自分は今は受けないといけない。
宮島 キャッチをするんですよ。キャ
ッチはみなそう。部下が11人いれば、
11人がどこに行っているか、現地から
送ってきたすべての原稿をキャッチし、
ニュースを仕立てなければならぬ。
成田 大変な激務ですね。今日は来て
いただいただけで、大変だったわけ

です。

すね。でも、そういう仕事、なりたいたいと思う人も多いんじゃないかな。

荻原 実は上田高校には教育実習で行って3週間政治経済をやらせてもらったんです。その時は絶対先生になるぞと思った、真剣に。で、現役の生徒へのアドバイスとしては、職業選択は、「じつくりあせらずに」がいいのではないかと思う。私は浪人もした、大学も留年して5年いた。目標を持って進むのはいいけど、人間だから迷いもあるし、めぐり合わせというものもある。その中で私は最終的にNHKに入ったけど、思うようにならなくても、あせらず、あきらめずに、与えられたところで一生懸命やることによって、自分にあつたものにめぐり合えるのだと思います。

井上 本日は「苦闘する中堅世代」というテーマで集まっていたのですが、お話を伺ううちに、苦闘するというよりも、「敢闘する中堅世代」という印象を受けまして、やはり、上田高校の同窓生ここにありと感じ、大いに力づけられました。お忙しい中、ありがとうございます。

誌上参加

78期 渡邊 博(とおる)

78期 渡邊 博(とおる) と読みます、戸籍上では「透」ですが、長女の誕生時に娘の名前と一緒に姓名判断を仰ぎました。座談会当日は長女の学

けるチャンスをいただきました。一筆取らせていただきます。

私の高校時代はハンドボールに尽きます。当日座談会に参加されたバレーボール班増田さんの隣の部室(今や跡形もありませんが…)にたむろしながら、中島「鬼」監督にしごかれておりました。1年、2年時とも諸先輩の方々の尽力によりインターハイへ連れて行っていただきましたが、肝心の3年目は中島監督に愛想をつかさ(？)教育委員会に栄転されたこともあり、3年連続のインターハイ出場を逃してしまいました。

ハンドボール部の諸先輩、後輩の皆さんとはいまだに色々とお付き合いをさせていただいております、私の人生の中で欠かすことのできない重みを占めております。

上田高校卒業後、青山学院大学理工学部へ進学し、在学中1年間米留学の機会を得、語学研修UCLA(University of California, Los Angeles)へ籍を置きました。ロサンゼルスオリエンピック前ですから1ドルは何と210円でした。ジャパン・アズ・ナンバーワンと日本が経済大国への道を突き進む中、レーガン大統領が強いアメリカを目指し国力の増強を進めており、同時に様々の国からあらゆる夢、目的を持って米国へ人間がなだれ込んでいる時代でした。私のクラスの中も米国籍以外の友人の方が多かったように思います。

そのとき得たあらゆる文化と直に触

れ合った経験が私のその後の人生に大きな影響を及ぼしたようです。

青山学院大学卒業後は、石川島播磨重工業、航空宇宙事業本部へ職を得、国際共同開発の新型ジェットエンジンの開発に携わることができました。その後様々なチャンスをいただき、米国 Rockwell International社、仏国 Dassault Systems社、を経て現在は仏国 Michelin社の日本国内の製造拠点であるミシュランオカモトタイヤ株式会社太田工場にて、5つある製造部門の中の一部門、スタッフ、現場のオペレーターを含めおおよそ100名弱の部門を取りまとめております。

私の部門は「黒くて円い」タイヤを構成するタイヤの中身の部品を製造する部門です。ここで作られた部品を組み合わせて、型に入れて高温で暖めると、皆さんがよくご覧になるタイヤになります。

(注: 昨年より当社ではカラフルな色のストライプの入った自動車用タイヤを市販しておりますが、一般的には自動車用タイヤは黒色が主流です。)

幸か不幸か、日本国内がバブルで一番華やかな時代はずっと海外に駐在しておりました。しかし、契約が赴任先の本社との給与体系ベースだったので、バブルの恩恵も、後遺症も全く経験していません。は、幸せなことかもしれません。

製造現場とは大変正直なもので、日々の努力や積み重ねが必ず成果となって現れます。また僅かでも油断や、手抜きがあると、そのまま結果として現れます。あらゆるシナリオを考え、手を打ってき

非常にやりがいを感じます。しかしながら、製造現場はあくまでも「人」が主流です。いくら最新鋭の製造設備を誇っても、それを扱うのは「人」であり、「人」の感情はとても繊細です。如何に現場で働く皆さんのモチベーションを高めるかが、日々の仕事の中で大きな比重を占めているテーマです。

現在、日本国内外で製造業の苦戦が伝えられています。当社にとっても状況は同じで、対同業他社のみならず、同じグループ内でも各工場間で生き残りをかけて熾烈な競争を繰り返してまいります。工場をあげてあらゆる戦略を考

える必要がある中で、結局人間のモチベーションという一番基本的な部分が鍵を握っているというのはなんと興味深いことかと思っております。職場の管理監督者の一人として、人間のモチベーションアップについて考えることは、ふと考えると、結局家庭内で親として子供たちに勉強をさせることと通ずるものがあり、なにか我々にとつて一生のテーマのような気がいたします。非常にやりがいがあるとおも

ろいテーマだと思えます。さて、最後に後輩へのアドバイスですが、そのときそのときで自分がやりたいと思ったことを思い切ってやってみてください。あとで実行しなかったことを後悔するよりも、実行して、もし失敗してもそのことが自分の次のステップになると思えば楽しいんじゃないでしょうか？

お願い

- ご覧のように、複数年納入されている方が多くおられますが、引き続き、御協力をお願い申し上げます。
- また、これまで納入されておられない方は、これまでの分は免除され、今年納めた分からカウントされますので、納入に御協力くださいますよう、お願い申し上げます。なお、36期以前の会員は、会費が免除されます。
- ◆お問い合わせは、事務局・幹事長成田まで (Fax : 045-864-5835 e-mail:Kenny-n@ttmy.ne.jp)

51	山形喜昭	18	52	小島芳次	18	53	中島 均	15	54	足立忠一	14	55	遠山武彦	14	57	竹内 昭	21	58	山辺光一	17
51	掛川國雄	17	52	須藤尚彦	18	53	安土忠男	14	54	有賀俊雄	14	55	長峯道明	14	57	戸塚英雄	21	58	北沢 彰	16
51	金井高男	17	52	水出康雄	18	53	飯島房子	14	54	石井政雄	14	55	長谷川正紘	14	57	加賀美		58	西澤益男	16
51	小林祐二	17	52	柳沢孝宣	18	53	岩田 久	14	54	大矢憲明	14	55	樋口宣明	14		欣二郎	19	58	仁平光義	16
51	田村忠男	17	52	久保治良	17	53	尾沢正毅	14	54	荻原統夫	14	55	町島正敏	14	57	杉原弘一	19	58	生田満穂	15
51	丸山 弘	17	52	高松健治	17	53	甲田裕茂	14	54	皆瀬森夫	14	55	宮下衛之	14	57	畑 勲	19	58	伊東啓治	15
51	村田 寛	17	52	塚田進一	17	53	甲田育也	14	54	沓掛文哉	14	56	笠原征夫	25	57	宮下廣勝	19	58	大日向寛敏	15
51	六川二郎	17	52	柳沢 忠	17	53	小林忠夫	14	54	小市則夫	14	56	風間英信	25	57	大谷光弘	18	58	金子親碩	15
51	黒川嘉郎	16	52	柴田正人	16	53	藤森善也	14	54	小松邦男	14	56	瀬下正利	25	57	土屋信雄	18	58	小池 晃	15
51	小林貫一	16	52	関 正利	16	53	保屋野悦男	14	54	清水 等	14	56	内海章緒	23	57	比田井忠和	18	58	滝沢一彦	15
51	清水直衛	16	52	寺井成章	16	53	堀内基之	14	54	玉野敏雄	14	56	若林克寿	22	57	榎本金二	17	58	芳賀躰道	15
51	龍野勇介	16	52	藤井清彦	16	53	堀内正智	14	54	土屋晃一	14	56	赤尾信吉	21	57	金澤昭義	17	58	波田野 浩	15
51	徳永慈宏	16	52	宮島廣人	16	53	柳澤浩二	14	54	寺島重暉	14	56	神津 進	21	57	清水康弘	17	58	本田祥治	15
51	保坂利勝	16	52	稲垣正武	15	53	山本農夫彦	14	54	橋詰守人	14	56	西島幹夫	21	57	保科政男	17	58	宮下秀久	15
51	宮川 司	16	52	新保知右喜	15	54	小林勝利	35	54	花房伸吉	14	56	平尾充雄	21	57	山崎紀典	17	58	矢嶋謙夫	15
51	山本晏久	16	52	土屋義子	15	54	松井平三	27	54	藤村延魚	14	56	安田 明	21	57	宇賀神一雄	16	58	高橋福幸	14
51	青島昭久	15	52	濱野志め	15	54	丸山俊二	26	54	宮本昌典	14	56	飯高盛龍	20	57	臼田茂二	16	58	多田雅文	14
51	荒井一男	15	52	水沢富士雄	15	54	山本大吉郎	25	55	鶴見貞夫	24	56	上原清治	19	57	久保新一	16	58	塚田恒雄	14
51	上原 昂	15	52	吉沢正人	15	54	黒岩千鶴子	24	55	和田 守	23	56	河西邦彦	19	57	篠原秀則	16	58	堀込征雄	14
51	小野沢哲夫	15	52	上原佳和	14	54	成田崇宏	24	55	成澤祐介	21	56	小平節夫	19	57	白倉憲二	16	59	長谷川久二	30
51	児島和人	15	52	滝澤 格	14	54	福田斎一	24	55	宮島光男	21	56	村井 弘	19	57	鈴木芳枝	16	59	大日向勝利	27
51	清水英明	15	52	竹鼻 幸	14	54	田中嘉親	22	55	清水好昭	20	56	岩下 宏	18	57	関 行裕	16	59	関 和明	21
51	土屋 章	15	52	三浦健一	14	54	宮島 博	22	55	滝沢 傳	20	56	大久保治夫	18	57	滝沢文雄	16	59	小林義典	20
51	平井秀男	15	53	服部総一郎	25	54	斉藤智巳	21	55	間島 巖	20	56	小林英郷	18	57	武井義親	16	59	重原正治	20
51	堀内弘栄	15	53	塚田 靖	23	54	市河富弘	20	55	伊藤典久	19	56	小山莊司	18	57	田中和寛	16	59	清水 和	19
51	母袋博一	15	53	大久保		54	神津勝重	20	55	荻原光夫	19	56	坂田治三郎	18	57	西尾紀一郎	16	59	萩原清人	18
51	山邊俊一	15		慶次郎	22	54	滋野三樹	20	55	長谷川善一	19	56	柴田義人	18	57	渡辺静雄	16	59	水出清仁	18
51	横島義之	15	53	井上真人	21	54	篠原允司	20	55	木村和幸	18	56	白井利彦	18	57	皆瀬 淳	15	59	荒井長利	17
51	浅野井 哲	14	53	小野澤光矩	20	54	関 正勝	20	55	塚田忠夫	18	56	滝沢 健	18	57	神田 昇	15	59	有賀勝夫	17
51	井出英三郎	14	53	山岸一夫	20	54	河西秀夫	19	55	宮崎利夫	18	56	平野武郎	18	57	桑原恒雄	15	59	岩崎忠夫	17
51	岩下裕至	14	53	鈴木宣光	19	54	後藤人三	19	55	沓掛勝利	17	56	笹澤政道	17	57	前田由美子	15	59	石塚洋一	15
51	臼田 稔	14	53	高木快雄	19	54	中村一彦	19	55	坂口守夫	17	56	塩川邦彦	17	57	宮坂幸雄	15	59	稲葉 茂	15
51	鎌野秀嗣	14	53	武重賢治	19	54	古見喜八郎	19	55	土屋英明	17	56	竹内 仁	17	57	若林紀太	15	59	滝沢浄人	15
51	蒲生卓磨	14	53	半田義昭	19	54	保屋野 忠	19	55	臣川晃夫	17	56	中村 勉	17	57	岡川章夫	14	59	本郷達郎	15
51	武井 厚	14	53	堀内忠久	19	54	櫻井 敬	18	55	平野 誠	17	56	成田邦夫	17	57	小島吉男	14	59	小林芳友	14
51	中澤良行	14	53	増田隅雄	19	54	田村 朗	18	55	秋葉光廣	16	56	翠川和彦	17	57	高木佳年	14	59	清水紀男	14
51	早川正範	14	53	浅野井 恭	18	54	千村一平	18	55	飯島慶三郎	16	56	河合祥雄	16	57	田沢雄二郎	14	59	田村 功	14
52	古川 一	38	53	加々井悦郎	18	54	土屋重基	18	55	小宮山忠彦	16	56	小泉恒久	16	58	倉島今朝徳	33	59	福田吉宏	14
52	青木 功	29	53	懸川文夫	18	54	宮入裕夫	18	55	清水 勇	16	56	長坂光登	16	58	井沢 敬	31	59	山口元彦	14
52	佐々木淳二	29	53	小林乾泰	18	54	久昌貴代江	17	55	滝沢哲三	16	56	宮坂 卓	16	58	林 嘉市	28	60	福嶋 宣	26
52	小山堯志	27	53	杉浦醇一	18	54	小林干城	17	55	毛利義範	16	56	柳沢安信	16	58	宮本忠昭	28	60	北原英孝	24
52	古平伸吾	26	53	若林清和	18	54	滝澤睦夫	17	55	倉見英一	15	56	岡田健治	15	58	百瀬和紀	25	60	黒沢博身	24
52	小林孝典	26	53	阿久津義雄	17	54	竹内 節	17	55	黒岩了	15	56	関 健二	15	58	中村国武	22	60	尾上朝子	22
52	小林俊憲	25	53	大塚昌宏	17	54	望月源治	17	55	清水武雄	15	56	中村甲治	15	58	宮川克彦	22	60	今井勇雄	18
52	赤池孝之	23	53	武井 淳	17	54	横沢武典	17	55	堀内良幸	15	56	松井廣通	15	58	伊藤文明	21	60	上原惇子	18
52	飯塚和男	23	53	堀内 福	17	54	石原澄江	16	55	宮入健二郎	15	56	横島庄治	15	58	久保田達夫	20	60	風間文彦	18
52	土屋寛貢	23	53	渡辺百枝	17	54	倉島 彰	16	55	宮坂 克	15	56	吉池鴻允	15	58	寺島知恵子	20	60	山本哲之	18
52	生駒利行	22	53	大塚教夫	16	54	橋田ちせ	16	55	井上馨	14	56	大塚明彦	14	58	堀内 昭	20	60	渡辺達三	18
52	掛川正司	22	53	須田武久	16	54	山崎茂幸	16	55	内堀真通彦	14	56	佐藤英和	14	58	片岡春雄	19	60	田中一穂	17
52	松沢秀雄	22	53	半田喜章	16	54	山田信明	16	55	榎野達彦	14	56	田辺順一	14	58	金井 久	19	60	塚田 晃	17
52	青柳位紗男	21	53	堀内貞夫	16	54	石井光春	15	55	片岡恒夫	14	56	田村 功	14	58	中島秀忠	19	60	羽毛田 信	17
52	石井正彦	21	53	松井利通	16	54	黒川次郎	15	55	草間 孝	14	56	羽島昭一	14	58	山村邦夫	19	60	吾妻裕三	16
52	片山浩之	21	53	宮川澄男	16	54	呉 公一郎	15	55	小山治卓	14	56	三井宣夫	14	58	小林慶三	18	60	川上知行	16
52	川嶋 慎	21	53	村松 厚	16	54	小堺一雄	15	55	坂口宏明	14	56	柳沢義孝	14	58	小川 泰	18	60	高沢博行	16
52	甲田廣行	21	53	山辺一磨	16	54	竹重龍雄	15	55	杉原積雄	14	56	依田幸雄	14	58	佐藤義男	18	60	田中誠一	16
52	中村茂之	21	53	出野今朝雄	15	54	土屋勝俊	15	55	関 五郎	14	57	箱山 雍	35	58	城下 尚	18	60	前田尚武	16
52	森 浩一	21	53	岩崎 涉	15	54	馬場武彦	15	55	滝沢克彦	14	57	池田教範	29	58	関 順一	18	60	池田 清	15
52	橋爪今朝男	20	53	小泉勝夫	15	54	馬場雄二	15	55	滝沢 讓	14	57	池田盛司	28	58	手塚洋兵	18	60	沓掛行徳	15
52	松崎義一	20	53	小山哲雄	15	54	前田喜美子	15	55	田玉尚武	14	57	横沢武久	26	58	寺島紘士	18	60	小林秀芳	15
52	矢島寛文	20	53	下崎和彦	15	54	松尾 誠	15	55	塚田征司	14	57	田村義昭	24	58	秋本友雄	17	60	田中良樹	15
52	石合正和	19	53	芹沢袈裟三	15	54	宮入修平	15	55	土屋 務	14	57	有井 毅	22	58	鎌原昭治	17	60	長崎 誠	15
52	掛川十次郎	19	53	土屋 隆	15	54	柳澤 明	15	55	遠山幸三	14	57	池田真司	22	58	林 隆男	17	60	岩下征二	14



◆年会費
納入者
氏名

平成14年分以降の納入者一挙掲載！！

◆これまで、その年の納入者を半年毎に掲載してきましたが、今号は平成14年分以降の納入者を一挙掲載しました。氏名の後の数字が、平成何年分まで納入しているかを表しています。

期	会員氏名	▼	41	金沢光男	23	44-4	竹内秀彦	35	47	佐藤一郎	15	49	松本初男	32	50	山辺孔一	26
28	田中五郎	14	41	古松 彰	20	44-4	市川 渡	25	47	高見沢文夫	15	49	牧内泰道	29	50	花岡 巖	25
29	岩下美千穂	18	41	斎藤好一	18	44-4	金子 健	23	47	田澤 徹	15	49	宮坂 博	26	50	宮本嘉興	25
30	針塚正樹	15	41	依田弘夫	18	44-4	小山令二郎	21	47	中村義夫	15	49	永井俊夫	23	50	児玉忠雄	21
30	西沢秀暁	14	41	上原泰正	16	44-4	所 昭三	20	47	馬場善一	15	49	柳沢敏郎	22	50	石井一郎	19
31	土屋 学	22	41	生島信夫	16	44-4	井出正人	19	47	三井芳郎	15	49	北沢昌永	20	50	井出藤壽	19
31	赤沼進吾	17	41	甲田 睿	16	44-4	児玉志郎	17	47	伊藤次男	14	49	小野 実	19	50	尾台 久	19
31	小山一平	16	41	川尻悦三	15	44-4	高橋昭平	17	47	上野平八郎	14	49	唐澤昭雄	19	50	堀内陽造	19
31	山口宗吉	16	41	滝沢睦郎	14	44-4	山本 勝	16	47	島津虔一	14	49	久保利夫	19	50	飯島圭一	18
31	松島三男	14	42	池内 公	27	44-4	荻原 隆	15	47	村瀬潤一	14	49	荻原 賢	18	50	上原健一	18
32	福島軍次	32	42	横山十四男	24	44-4	中村 強	15	48	春原 寛	28	49	銭澤末治	18	50	久保田滋	18
32	水野利男	24	42	橋本英典	23	44-4	星野賢造	15	48	小林富士雄	27	49	飯島弘行	17	50	滝沢主計	18
32	石井正六	16	42	岩下 實	22	44-4	黒岩喜四郎	14	48	山極喜郎	26	49	川本 豊	17	50	西野 明	18
33	中沢亮太	16	42	折田義雄	20	44-4	小林一雄	14	48	小林芳彦	25	49	佐藤芳徳	17	50	間庭秀人	18
34	土屋信夫	20	42	高野佐太夫	19	44-4	滝沢源平	14	48	浦田光雄	23	49	中山典之	17	50	五十嵐明迪	17
34	神田精夫	19	42	山邊賢四郎	18	44-4	中村 司	14	48	篠原泰司	22	49	松岡秀夫	17	50	小山邦介	17
34	松井正直	14	42	高橋祇市	17	44-4	堀内茂雄	14	48	金岡信夫	21	49	山岸萬亀男	17	50	堀内健二	17
35	滝澤 正	28	42	宮本 武	17	44-4	柳沢清史	14	48	土屋 亮	21	49	青木喜久彌	16	50	山内重昭	17
35	石井 暢	27	42	佐藤成男	16	44-4	山極栄司	14	48	峯村千徳	20	49	石井智憲	16	50	工藤俊夫	16
35	大井卓雄	18	42	横山誠之助	16	45	森 茂	28	48	宮澤武夫	20	49	石塚民雄	16	50	清水章男	16
35	柳沢義房	18	42	栗田裕夫	15	45	山邊 力	17	48	今井正明	18	49	上野貞夫	16	50	袖山睦啓	16
35	渋谷元則	16	42	小林孝雄	15	45	掛川嘯夫	16	48	尾山正徳	18	49	岡田嘯夫	16	50	沼田 淳	16
36	滝澤克己	21	42	宮坂民樹	15	46	神林常視	23	48	柿崎真吾	18	49	小澤泰衛	16	50	輿水朝治	15
36	岡木博美	17	42	六川英夫	15	46	有賀 治	21	48	小松昭威	18	49	小林喜六	16	50	戸部登喜一	15
36	武捨久男	15	42	真山勝美	14	46	出浦 仁	21	48	酒井寛文	18	49	竹重信幸	16	50	平野昭邦	15
36	松野 正	14	42	丸山仁志	14	46	宮沢 寿	19	48	高柳直樹	18	49	西野入利雄	16	50	翠川 勲	15
36	宮下春三	14	43	横澤昭安	22	46	水澤 博	18	48	竹花源内	18	49	前田芳造	16	50	室賀超八郎	15
37	新井邦夫	22	43	池田良一	19	46	柳沢義祝	18	48	宮山栄二	18	49	翠川 輝	16	50	柳 滋	15
37	清水志郎	17	43	清水哲夫	19	46	中島正夫	17	48	下村正雄	17	49	山岸光臣	16	50	沼沢洋一	15
37	八田 秀	17	43	上野敏雄	18	46	丸山浩一	17	48	田原 敬	17	49	渡辺侃治	16	50	渡辺一雄	15
37	永田末吉	16	43	田玉重陽	18	46	工藤忠房	16	48	田村貞夫	17	49	芦田 純	15	50	秋山忠利	14
37	大塚次郎	14	43	寺尾 康	18	46	清水巻郎	16	48	平林直之	17	49	出野勝己	15	50	石井宏知	14
38	由井虎史	37	43	保刈大治	18	46	吉村賢治	16	48	堀内哲郎	17	49	上原啓郷	15	50	永 六輔	14
38	荒木廣之	19	43	土屋 啓	17	46	金子寿夫	15	48	臼田誠人	16	49	風間 充	15	50	金井昭夫	14
38	高木弘之	18	43	金子太吉	16	46	佐藤 信	15	48	清水雄司	16	49	城下幸雄	15	50	久保長行	14
38	小林三郎	17	43	小林朝衛	16	46	長谷川 潔	15	48	城下栄三郎	16	49	田中達夫	15	50	武重秀雄	14
38	矢島勇雄	16	43	清水雅夫	16	46	相澤忠一	14	48	竹内恵三	16	49	鶴見慎一郎	15	50	茅野忠重	14
38	田中康雄	15	43	梅田 實	15	46	伊藤茂久	14	48	中村哲治	16	49	永島啓二	15	50	傳田勲郎	14
38	清水則夫	14	43	手塚慶次郎	15	47	宮原俊雄	34	48	堀内 惇	16	49	藤家 衛	15	50	新堀英行	14
38	宮原 敦	14	43	平林 直	15	47	笹井 博	32	48	相田俊一	15	49	町田健一	15	50	平林 浩	14
39	菊地 博	27	43	小山榮治	14	47	佐藤 喬	32	48	大平 暁	15	49	宮坂啓象	15	50	山田秀昭	14
39	永田幹夫	20	43	田中重樹	14	47	田中正雄	31	48	唐沢俊雄	15	49	宮下彬英	15	51	成沢誠司	33
39	横関嘉伸	18	43	向山光男	14	47	丸山栄一	31	48	川上道輔	15	49	井出 昭	14	51	六川博輔	27
39	竹中幸彦	15	44-5	児玉喜年	23	47	三浦嘉治	25	48	熊川次男	15	49	井出和彦	14	51	池田義雄	26
39	橋詰 亨	15	44-5	北沢 守	19	47	西澤祥平	23	48	小林啓之介	15	49	大石和夫	14	51	太田幸男	26
40	森山博司	25	44-5	久保田昭寿	19	47	牧内 操	21	48	高柳英治	15	49	小口芳彦	14	51	倉沢直哉	26
40	児玉安彦	22	44-5	生島和幸	18	47	花村義男	19	48	松本守弘	15	49	小林斉之介	14	51	柳沢 純	26
40	渡辺久雄	21	44-5	小林義徳	18	47	水野 純	18	48	三浦幸雄	15	49	清水茂雄	14	51	清水 順	24
40	今井甲子雄	20	44-5	永井 巖	18	47	飯田久夫	17	48	山崎光夫	15	49	滝澤茂夫	14	51	内久根孝一	21
40	吉田光輝	20	44-5	中島和夫	18	47	加藤文郎	17	48	山本輝彦	15	49	龍岡 櫻	14	51	小林保雄	21
40	井本公一	19	44-5	古平照男	17	47	小山邦朋	17	48	赤羽忠雄	14	49	田村和邦	14	51	丸山瑛一	21
40	丸山英一	19	44-5	武井國憲	17	47	城下利雄	17	48	甘利尚人	14	49	土屋 正	14	51	柳沢五郎	21
40	石木 林	17	44-5	入山和太次	16	47	土屋 博	17	48	井出洋二郎	14	49	花岡 潔	14	51	飯塚 壽	20
40	荻原 愈	17	44-5	内海辰三	15	47	宮嶋良造	17	48	児玉和男	14	49	堀内寅次	14	51	市川慶伍	20
40	小山信平	17	44-5	原嶋佐吉	15	47	山岸五郎	17	48	竹内義廣	14	50	小山洋之介	44	51	上原隆雄	20
40	吉田節生	16	44-5	市川俊夫	14	47	片山治夫	16	48	竹内一夫	14	50	金井忠雄	35	51	中山隆雄	20
40	上野豊重	15	44-5	小林重夫	14	47	柄沢和彦	16	48	田中重徳	14	50	宮原省三	34	51	三木 勲	20
40	小平一彦	15	44-5	小山厚三郎	14	47	清宮栄市	16	48	寺沢 明	14	50	竹内啓爾	31	51	竹内晃昇	19
40	小林郷司	14	44-5	田中悦次	14	47	西村 勉	16	48	宮澤英人	14	50	馬場進吉	30	51	小胎治雄	18
40	小林 博	14	44-5	手塚敬一	14	47	山崎延秋	16	48	塚田 満	14	50	塚田 満	29	51	中島通明	18
40	柳沢喜三郎	14	44-5	柳沢達也	14	47	番掛元砥	15	48	横田正一	14	50	渡辺洋一	28	51	中島 宏	18
41	宮下俊夫	26	44-5	柳澤 廣	14	47	小掛和弥	15	49	榎本秀雄	32	50	水野哲雄	27	51	望月伸泰	18

◆年会費 納入者氏名

(8-9ページより続き)



▼土屋学(31) 最近脚腰の痛みが激しく、ウォーキングもゴルフも思うに任せません。かろうじて囲碁が

何とか持ちこたえています。

▼新井邦夫(37) 府中にある身障者の老人ホームの施設が9社の中で一番に都の指定を受けて4月にオープン。82歳になり会費免除になったので1万円寄付しました。

▼菊地博(39) 11月23日(勤労感謝の日) 康に感謝し、時代の風世の姿、人の心、科学、

Table with 4 columns of names and numbers (60-73). Includes names like 木下敏郎, 神津英明, 甲田 泰, etc.

▼生島信夫(41) 会報拝読。世の変化に対応し、

大きな構想力のもと、企画、取材、編集には目

性を与えてくれます。携われた皆様の創意と行

動力を称え、ご労苦に思いを馳せます。今、健

に神奈川県医師会にて行われる第44回神奈川医

▼牧内操(47) 02年11月、初めての本格的な書

「未来を招く・知識創造」を出版しました。現

代・工業社会は滅びに向かい、未来・知識産業社

会はもうとっくに始まっています。古い時代と

新しい時代の谷間にある今、あらゆる企業がそ

▼上野平八郎(47) 孫の子守り補助、ゴルフ

生きています。運営費が大変とは思いますが、

年会費80歳以上無料は少々疑問です。75歳ぐ

らいに下げた方が現実的だと思います。

して頂くよう努力しており、当面下げるのは

運営基金拠出者(平成14年04月01~平成15年03月31) 特記以外10口1万円。計18万円。

- 山極喜郎(48・2口) 柳沢敏郎(49) 宮坂 博(49) 竹内啓爾(50・2口)
小山洋之介(50) 田中嘉親(54) 畑 勲(57) 倉島今朝徳(58)
長谷川久二(59) 吾妻裕三(60) 堀内寿美(61) 中村房子(62)
柄澤則夫(65) 小山雅堂(65) 荻原久俊(74) 會田信子(80)

訃報 ご冥福をお祈りいたします。

- 成澤潔水(20) 14.8.30 赤池 明(22) 14.8.31 細田正美(26) 14.11.18
土屋 勉(32) 13.10.24 西原美登(32) 14.7.16 児玉 浩(32) 14.8.12
坂本俊夫(33) 14.10.4 椎塚三夫(33) 14.1.19 滝沢元助(34) 13.4.26
高遠弥六(36) 12.7.26 宮下彬英(49) 14.10.12 尾和 彰(49) 14.12.12
小林亨三(50) 14.9.9 清水博夫(54) 13.12 桜井 彰(55) 13.10.16
大熊和夫(56) 14.14.20 小林裕之(57) 12.5.17 甘利武利(59) 14.12

困難な状況です。ご理解ください。

▼田原敬(48) 江上波夫先生が11月11日に亡くなられた。先生が名誉会長をしていた「東アジアの古代文化を考える会」の分科会「ユーラシア研究会」で塩田平と松代へ行き

信濃の古代を調べると、渡来人が大勢住みつき信州人のなかに多くの先祖の血が入っていることに驚きました。

▼堀内惇(48) 「行動する同窓会」の新プロジェクトのうち「母校への社会講座」は良い企画、若い世代の後輩たちをはじめ、先生方や故郷の上田に住む同窓生にも大きな刺激になりました。良い講師を選んで成果を挙げてください。在京の上田高校関連の集会も多いので、東京上田会や松尾倶楽部との重複を防いでください。

▼小林芳彦(49) 2月26日、上田高校運動部OB連合会総会があり、招かれて出席しました。このような集いがあることを知りませんでした。このように、在郷の人たちばかりでなく、多くの人に知らせてはと提案しておきました。関東同窓会でもこういう存在を知らせては。(執行部より)体育会各部のOB会、文科系各クラブのOB会の連絡先や会合予定など、ぜひ事務局にご連絡を。

▼渡辺二雄(50) 最近、国主導での市町村合併の計画が盛んです。小生居住の戸田市も隣接3市との合併が市民への公開も無いままに進められたため、大反対運動を展開、ようやくほぼ潰したところです。町村部は財政上やむを得ぬ所も有るようですが、市によっては、サービス低下につながることもあるので要注意です。

▼飯塚義(51) 会社の方は65歳で退任し年金生活で病後のリハビリ散歩、旅行、写真などで楽しんでます。3月から11月は、軽井沢の家で花のガーデニングも楽しいです。

▼保坂利勝(51) 昨年12月、江南の6都市を巡る旅ができ、寒山寺も訪れ、ふと竹内

敬太郎先生に教わった張継の漢詩「風(木偏に風) 橋夜泊」(月落ち烏啼いて霜天に満つ)を思い出しました。その教室風景も50年の昔に「師の逝きて昭和茫々朝の霜」

▼丸山瑛一(51) 母校百周年で会員の皆様にご負担をおかけしましたが、幸い強力なご支援を頂いて、石井執行部にバトンタッチすることができました。この欄をお借りして厚くお礼申し上げます。新執行部は「行動する同窓会」の名の如く、新機軸を次々と打ち出しておられることに期待しております。(13期会長)。(執行部より) 3年間、御苦労様でした。

▼田中嘉親(54) いまだ現役(民間病院の雇われ病院長)を続けています。年金加入も70歳までと延長になり、時代の流れを感じています。土曜日も平日出勤といういささか並の世間とはずれた生活で、花金は今のところ夢の話です。

▼田村朗(54) 11月9、10日に昭和28年松尾高校入学時の片山完先生のクラス会に参加しました。静岡在住の山崎茂幸君らのご尽力で43人中27人出席と大盛會。軽井沢塩壺温泉も良く72ゴルフコースのコンペも好天に恵まれ最高でした。翌週には54期会G・Cと中南信支部総会にも参加、穂高町在住の石田益雄君の案内で美術館・道祖神巡り、真道茂君、前田喜美子さんの有益な講演もあり充実した週末でした。信州そばもおいしく、温泉宿も素晴らしく、冠雪した軽井沢での浅間山、松本平での常念岳の風景など、信州の自然の美しさは何とも言えないものでした。途上、関正勝君には大変世話になりご好意に甘えましたが紙面にて心からお礼申し上げます。

▼八木繁実(54) いつも同窓会のお知らせ、ありがとうございます。79年より度々アフリカに仕事(応用昆虫学)で出かけ、特に90年代はあまり国内にいませんでした。21世紀になり、JICA専門家でのガーナ(ガーナ大学農学部)の仕事を終え、現在はほぼ毎日が日曜日の生活を楽しんでいます。アフリカでの生活と見聞をこ

れからも多くの人々にお伝えしたいと思っています。▼藤村延魚(54) 3月にアメリカの会社を定年退職して、新たな挑戦で専門学校を3つほどかけもちして認定資格を取得すべく楽しく勉強しております。そのうちに世の中のためにお役に立てることがあると思います。今までの罪滅ぼしに。

▼57期7組清作会(故池田清作先生担任クラス) ①1月13日新年会を池之端文化センターで26人参加。元生徒会長加賀美君も福岡から。講演は上田市議田中正雄君②2月4日東京外語大杏樹良彦君(前外国語学部長)の定年退官に伴う最終講義に同期7人が参加。講義のテーマは「陶淵明における死と詩」。同期した池端学長と同期の高山君が東大時代の同級生で奇遇を喜ぶ。その高山君は日本IBMから帝京平成大学講師に転身。③6月6日、軽井沢で恒例の一泊清作会を開催。参加は地元元同期の仲間も含め35人の予定でゴルフも。来年は57期が関東同窓会の幹事期、最低でも30人以上の参加を。(幹事 清水康弘記)

▼久保新一(57) 会報「うえだ」、いつも楽しく読ませてもらっています。なぜか会報のたぐいは詰まらないものが多くさっと目を通した後むなししくゴミ箱へと言うものがほとんどですが、本会報は読むたびに良い気分になります。元雑誌編集者の妻も、レイアウトも良いし、記事の取り上げ方、配置も良いと感心しています。小生はまだ横浜市にある私大の現任教員で大学院改革等に取り組んでいますのでなかなか時間も取れず総会に顔を出す気分になれませんが、こういう楽しく元気で実りのある会のご発展を祈念しております。

▼平松勝利(58) 驚きました。横浜・戸塚の自宅の近くに先輩が二人。これも何かの縁、と筆をとりました。11月中旬母校の校門を撮影してきました。街の様子は変わっても、門に正面から向かう路の左右が移ろうとも、我が門はどっしりと迎えてくれました。秋の終わりの漂いを装いながら「何年振りだね」というように。私のような不義理者にも会報を送って頂きありがとうございます。読むと懐かしく、また、これからに勢いをつけてくれます。



Imaginations are free and fun, and excitements more wonderful and much greater.

“発想は自由に楽しく、そして感動は素敵に、より大きく”

- Mr. Children
- SOPHIA
- BUMP OF CHICKEN
- ゆず
- ケツメイシ
- RAG FAIR
- ソニン

株式会社トイズファクトリー 代表取締役 井出孝光



会員短信

も含め今後の日本サッカーが
楽しみます。

▼吉澤善男(61) 小生は北佐
久の出身で、かつて自身の出
身が母校の学区から外れた

▼林隆男(58) 富士フィルム(株)を退職後、
子会社の富士テクノス(株)に移籍、社長として
不景気で大変ななかでどうにかやっています。
▼波田野浩(58) この度パリ16区に私の絵
(木版画「晩秋の磐梯」)が展示され、11月8
日のオープニング・ベルニサージュに行つて
来ました。世界最古の権威ある国際公募展
「ル・サロン」に入選したのを機に、4年ぶ
りに訪れたパリを満喫し、新作への意欲を胸
に秘め帰国しました。木の文化を中心とした
日本文化に比べ、石の文化を中心としたゴシ
ック様式の建造物、アメリカ文化の影響下の
派手な色調に比し、伝統と権威を守るヨーロ
ッパ文化の違いを実感する旅でした。(百周
年に制作した「旧上田藩主屋敷門と堀跡」サ
イズ73×104センチ、木版画が母校校長室に飾
つてあります)

▼水出清仁(59) 同窓会費の納入管理につい
て。関東同窓会会費の他にも納入するケース
がたくさんあり、自己管理が困難。自分が何
年度分まで納入してあるか、分かる仕組みが
あればと思っています。

▼谷内一郎(59) 今春退職、引退しました。
▼滝澤雅男(61) 2002年ワールドカップサッカ
ーは大方成功裡に終了しましたが、私は横浜
国際競技場にてオフィシャルボランティアを
体験しました。高校2年生の時に第16回秋田
国体に出場したことが私のサッカー人生の自
慢ですが、社会人になっても4、5年は実業
団リーグに参加しています。当時の日本の
サッカーレベルの低さに比べ、今回の日本チ
ームの活躍は世界レベルに達して、Jリーグ
も含め今後の日本サッカーが
楽しみます。

▼吉澤善男(61) 小生は北佐
久の出身で、かつて自身の出
身が母校の学区から外れた

▼宮原豊(65) 01年12月からインドのニューデ
リーにいます。あと2年ほどは滞在する予定。
インドのビジネス関係ある方、訪問の折にはご
連絡を(ジェットロ・ニューデリー)。銀行に14年
度、18年度分の5年分1万円送金しました。

▼甲田勝昭(80) 平成14年4月より故郷に戻り
開業医となりました。今後ともよろしくお願
いします。

▼會田信子(80) いつも楽しく会報を読ませて
頂いています。この年齢になると親や配偶者：
が身体を壊したり何やらで。でも皆様のパワ
フルなご様子を見て元気を取り戻しています。
新役員の皆様よろしくお願ひします。

ときは寂しい思いをしましたので、長野県が大
学区に戻ることを喜んでいきます。小生は高卒以
来ずっと同じ大学(東京工業大)におりますが、
また多くの後輩が入学してくれることを期待し
ています。でも04年からだと小生とすれ違い
(定年)になるのが残念です。

▼61期の皆さんへ 7月12日の総会の日に、別
途同期会をやるうと話しあっています。卒業40
周年記念です。是非ご都合を。(井上)

▼飯塚一雄(63) 台湾に新幹線を建設するプロ
ジェクトに加わっています。これから数年間は
台湾に張り付くこととなります。

▼角田玲子(63) ほぼ毎日立ち寄る、我が家か
ら1キロ未満の実家での母の独り暮らしも8年目、
そこでの週末は水戸に帰る弟(65期、仲澤正)も
一緒。弟の単身赴任生活も6年目になります。
週休2日、新教育課程実施初年度、休日もほと
んど出勤という今までで実働時間が一番長い生
活ですが、仕事が楽しくパソコンも面白いと思
えることを幸せだと思っています。(公立中学教員)

▼小山雅堂(65) 上海へ家族と犬を連れて移住
しています。昨年までは月に1回ほど上海に行
く生活でしたが、今後は全く逆の生活を送るこ
とになります。同期の友人たちがわざわざ激励
会を催してくれた上での移住ですので、その友
情に報いるためにも適度に頑張る予定であります。

ベストセラー「天国の本屋」の

田中 渉さん(83期・電通勤務)

コンビニでふと出会った老人に“誘拐”され、天国の本屋でアルバイトに。子どもたちに本を朗読してやるうち、自らの記憶の世界に引き込まれていく。そんなメルヘンタッチの小説「天国の本屋」が若者に受け、静かなブーム。第1集が30万部、第2、第3集も3~4万部の売れ行きだという。この作品を友人と二人で書いたのが、電通エンタテイメント事業局映像事業部で活躍する田中さん。上田市諏訪形出身だ。

東京再開発のさきがけとなった汐留にそびえる電通本社ビル。田中さんの本業は広告業界最大手企業の第1線プロデューサー。昭和60年母校を卒業、早稲田大社会科学部を出て平成2年に入社、主にニューメディア畑を歩いてきた。「企画を立て、資金を集め、作

品やイベントを制作して売り、資金を回収する。すべてやるんです」。

例えばWOWOWのミュージック部門ファン投票でトップになったホイットニー・ヒューストンを招く交渉をしたり、野村万斎を主役にした映画「陰陽師」を製作したりと、幅が広い。そうした激務を縫って小説も書くマルチ人間だ。

高校時代は水泳部で短距離の選手。「でも100メートル1分そこそこで、県大会で9位が最高でした」と苦笑する。高校時代を思わせる小説「プール」も共著で書いている。

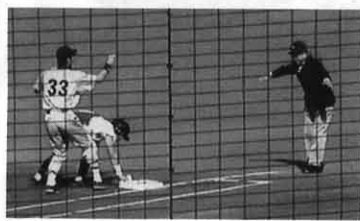
松尾祭でアンデパンダン展の制作を徹夜でやったのが忘れられないという。

「不景気というが、企業はいい企画には積極的に金を出します。そのためには梓をはみ出す気力、元気を後輩に持って欲しい」と厳しい注文を出した。



天国の本屋

六大学野球連盟で36年 山崎紀典さん(57期)



11月10日、野球部OBを始め関係者が集まり、山崎紀典氏の審判生活のご苦労に対する慰労会が行われました。

山崎氏は明大野球部で活躍後、昭和41年に東京六大学野球連盟の審判員に就任され、爾来36年にわたって尽力されました。その間、都市対抗野球連盟や高野連の審判員も同時に勤め上げ、さらには母校支援や後輩の面倒見などにも、その立場を存分に活かして大変な働きをされました。慰労会は思い出話を交えた野球談義で大いに盛り上がり、母校野球部の今後の活躍を確かめ合いながら、楽しいひと時となりました。

なお、山崎氏はその功績を買われて、今後は東京六大学野球連盟で審判技術顧問として審判員の技術指導にあたることになっております。(56期神津 進・記) 写真は早慶戦での審判